

令和4年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会  
第3回幹事会 会議録

- 日 時 令和5年3月27日（月）13:30～15:30
- 場 所 四日市商工会議所 3F 大会議室（オンライン併用）
- 出席者  
（有識者）  
村山顕人氏、松本幸正氏  
（交通関係者）  
阪田道夫氏、橋本明雄氏、伊藤真郷氏（代理）、中島嘉浩氏  
（商工関係者・大規模権利者・事業展開企業）  
速水正明氏、田中克昌氏（代理）、水谷貴宣氏（随行）、鈴木主計氏、林龍人氏（代理）、  
今井健太氏（随行）、柿平陸氏（代理）、山本龍太郎氏（随行）、福田賢治氏、  
荻村洋一氏、白江真二氏（随行）、渡部雄介氏（随行）  
（行政）  
家崎喜登氏、藤井爽太氏（随行）、小川明人氏（随行）、辻哲二氏、左橋直也氏（随行）、  
舘英次氏  
（事業展開企業）  
福田泰之氏  
（オブザーバー）  
国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設安全対策官 太田裕之氏  
国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長補佐 梶原裕二氏（代理）  
国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課係長 林哲男氏（随行）  
国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長 勝山祐樹氏  
国土交通省中部運輸局三重運輸支局 内藤莉菜氏（代理）

■ 次 第

1. 開会
2. 議題
  - 2-1. 議題 第1号 今後のスケジュールについての確認
  - 2-2. 議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告
  - 2-3. 議題 第3号 実行計画の進捗についての報告
  - 2-4. 議題 第4号 データサーベイの結果報告
  - 2-5. 議題 第5号 スマート・インフラに係る検討の状況についての結果報告
  - 2-6. 議題 第6号 その他報告事項について
3. 閉会

## ■ 内 容

### 【1. 開会】

#### <進行>

本日は、ご多用中にも関わらずご出席いただき、ありがとうございます。ただ今から「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」の令和4年度第3回幹事会を開会いたします。

本日の会議を進行させていただきます、四日市市政策推進部政策推進監の中川です。よろしくお願いいたします。

はじめに、お手元の資料をご確認ください。全部で8種類の資料と2種類の別添資料をお配りしています。過不足ありましたら、挙手にてお知らせください。

それでは冒頭挨拶として館副市長より一言お願いいたします。

#### <館副市長>

こんにちは。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。本日、会場の皆様におかれては、マスクの着用は任意でございます。また、オンラインでご出席の皆様もよろしくお願いいたします。本日、今年度3回目、トータルで6回目の幹事会の開催ということになりました。

ご承知のように、昨年度、実行計画を策定し、今年度はその実行計画を推進するという段階に来ており、前回の第2回幹事会ではモビリティワーキンググループ、データプラットフォームワーキンググループそれぞれの実施状況報告をさせていただきました。

また、9月に実施した中央通りの賑わい創出社会実験についても報告をさせていただきました。その際使いましたカメラやセンシング機器等を設置していくスマート・インフラの検討状況についてもご報告をさせていただいたということでございます。

本日も前回と同様に、それぞれのワーキンググループのご報告をいただきます。その他ローカル5G整備状況、3D都市モデル構築状況についても報告いたします。中央通りでは、西側の方から徐々に整備が進んで参りますので、それを受け、市民の皆様から、様々な期待の声もいただいているそうでございます。

ハード整備とスマートなソフトを統合し、中央通りの再生が推進されていますので、ぜひスマートリージョン・コア協議会の皆様方からは、忌憚のない意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは簡単ではございます。冒頭のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### <進行>

ありがとうございました。続きまして、本来であれば、ご出席の皆様のご紹介をさせていただきますところではございますが、時間の関係もございますので別添の出席者名簿に代

えさせていただきますと思います。

**【2-1. 議題 第1号 今後のスケジュールについての確認】**

<進行>

本日の議題は初めに今年度のスケジュールについて確認致します。続いて、ワーキンググループの実施報告を頂戴した後、実行計画の進捗状況報告や9月下旬より10月上旬まで開催いたしました。データサーベイの結果報告を行ない、その後スマート・インフラにかかる検討状況について、共有させていただきます。また、その他報告事項として、今年度整備構築されたローカル5Gと3D都市モデルの状況について報告致します。ご質問やご意見を頂戴する時間は、議題ごとに適宜設けさせていただきます。それでは早速ですが、最初の議題を進めさせていただこうと思います。これからの進行は座長にお願いしたいと思います。村山先生、よろしくお願いいたします。

<村山座長>

はい、承知しました。まず議題第一号今年度のスケジュールについての確認です。前回12月14日の第2回幹事会からの状況報告と今後の予定について詳細の説明を日建設計総合研究所様よりお願いいたします。

<株式会社日建設計総合研究所>

株式会社日建設計総合研究所から「今年度のスケジュールについて」について説明があった。  
(資料2)

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。今年度のスケジュールを確認いただきました。次の議題に進みたいと思います。

**【議題 第2号 ワーキンググループ (WG) の実施報告】**

<村山座長>

次の議題では、WGの実施報告をお願いしたいと思います。本協議会では、データプラットフォームWGとモビリティWGを設置し、それぞれのテーマに応じて参加企業からのアイデアを募ることや実行計画に具体的な取り組みを記載することを目標にして、議論や整備を進めてまいりました。

前回の幹事会以降に各ワーキンググループで実施された会議の内容をご報告申し上げます。それぞれのワーキンググループの代表企業様からご説明いただきたいと思いますのではじめに、データプラットフォームWGの代表であるシー・ティー・ワイ様よろしくお願いいたします。

<株式会社シー・ティー・ワイ>

株式会社シー・ティー・ワイから「ワーキンググループ（WG）実施報告」について説明があった。（資料3）

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。続きましてモビリティ WG の代表でありますマクニカ様からご説明お願いいたします。

<株式会社マクニカ>

株式会社マクニカから「ワーキンググループ（WG）実施報告」について説明があった。（資料3）

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。それでは 2 つのワーキンググループの実施状況について、ご意見やご質問がある方は挙手の上でご発言いただけますでしょうか？

私からデータプラットフォームについてお伺いしたいのですが、資料 8 ページにデータプラットフォームの構築状況として、ダッシュボードの絵がありますが、例えば駐車場とか、飲食店とかについては、Google のプラットフォームで検索し、場所とか営業時間とか混雑度とか大体わかると思います。それに代わる四日市中心市街地独自のデータベースのプラットフォームを作っても、そうした既存のプラットフォームに勝たないと使ってもらえないと思います。その点をどのように理解したらいいのかと、今後の取り組みについてご説明頂けないでしょうか？

<株式会社シー・ティー・ワイ>

ありがとうございます。今回四日市市で作ったデータプラットフォームは、地域に特化したものと考えております。

先ほど先生がおっしゃられた Google やアマゾン、食べログ等、既に様々なサービスがあると思いますが、市のデータプラットフォームには地域に特化した情報を入れていく形になる点でそれらと異なると思われれます。また、垣根なく様々なデータがデータプラットフォームに入っていくことになるため、それらを掛け合わせた新しいサービスができるだとか、いろんな情報がそこで見えてくるという可能性があります。その点も、特定の会社が作ったプラットフォームと比べた一つの意義だと思っているところです。まだ議論が足りないですが、既存の大手プラットフォームと連携可能かも今後検討したいと思っています。

<村山座長>

概ね理解できます。市民の皆さんに対する説明をする際等、既存の異なるプラットフォー

ムの情報を掛け合わせて何かができそうだが、それが例えばどういうことなのか、という具体例を出していくといいのかなと思います。また、四日市独自のという意味では、IoT 機器などのハードと連携することが重要です。既存のデータプラットフォームはそうした情報を得られないはずなので、ハードを使って新しいサービスを提供する点が、市が実施する意義だと個人的には思っています。市独自で作ることの意義を考え、内容を議論していく必要があるかと思っています。

<株式会社シー・ティー・ワイ>

ありがとうございます。

<村山座長>

ほかにいかがでしょうか？ 松本先生、何かコメントでございますか？

<松本先生>

ありがとうございます。モビリティ WG では、MaaS の検討も進んでいるということで、楽しみにしております。この考え方にはとても賛同できまして、ログイン情報の認証基盤を作って、いろんなアプリにログインできるというような形で広げていくというのはいいと思います。MaaS と言えば、当然四日市だけではなくて、全国版の MaaS 等もありますので、そこで相互の行き来が出来るとよいかと思います。一方、ローカルな情報は、この四日市の MaaS の方でしっかりと地に根差した情報が提供できるということなので、今後そういったところも含めて検討を進めながら、スモールスタートから進めてもらえればと思います。楽しみにしております。

<村山座長>

松本先生。 ありがとうございます。

他に無いようでしたら、次の議題に進みたいと思います。

#### 【議題 第3号 実行計画の進捗についての報告】

<村山座長>

次はスマートリージョン・コア実行計画について策定後一年が経過するにあたり、進捗のご報告をいただきます。前回の幹事会で提示した実行計画の管理見直しの方法に基づき、実行計画の進捗をまとめた 2022 フォローアップ資料として取りまとめたいただきましたので、日建設計総合研究所様からご説明いただければと思います。

<株式会社日建設計総合研究所>

株式会社日建設計総合研究所から「スマート・インフラに係る検討の状況について」につい

て説明があった。(資料4)

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。非常にわかりやすい資料だったと思います。

実行計画の今年度の進捗や、次年度の予定等についてご意見ご質問がある方は挙手の上ご発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか？

この実行計画、初年度にあって順調にスタートできたということでした。これはホームページとかで公開されるものなのでしょうか。

<株式会社日建設計総合研究所>

まず幹事会の資料として公開されることとなります。また、対外的な発信も想定して作ったものでございますので、今後の発信についても考えていきたいと思っております。

<村山座長>

ありがとうございます。

#### 【第4号 データサーベイの結果報告】

<村山座長>

それでは次の議題に移ります。続きまして、昨年9月22日から10月16日までの間で「賑わい創出社会実験はじまりのいち」と合わせて実施されたデータサーベイの結果について、日建設計総合研究所様よりご説明お願いいたします。

<株式会社日建設計総合研究所>

株式会社日建設計総合研究所から「データサーベイの結果報告」について説明があった。(資料5)

<村山座長>

はいご説明ありがとうございました。それではデータサーベイの結果報告の内容についてご意見ご質問がある方がいらっしゃいましたら挙手の上ご発言お願いいたします。オンラインの方も遠慮なくご発言いただければと思います。

技術的な部分については、スマート・インフラの機器の様々な特性等、実際に使ってみて可能性と限界も分かってきたと思うのですが、その上で今一度なんのために、こういう機器を使ってデータを取るのかということについて議論しないといけないと思います。機器の技術的な特性を知ることとは出来たと思いますが、今後それなりにコストがかかる話であり、これからどのように活用するのかどこに設置するのか、そのデータを誰が使うのか、どういうメリットがあるかなど、その辺の議論が必要だと思っておりますが、推進協議会としてはどのよ

うに議論することになるのでしょうか？

<株式会社日建設計総合研究所>

ありがとうございます。実際、データでどういうものが取れて、どういうものが取れないのか、またはどういう環境であれば取れるのか取れないのかってことがわかってきた段階にあります。来年以降、今村山先生がおっしゃっていただいたように、誰がどう使うのかですとか、それにはどういうメリットがあるのかということにつきまして、データプラットフォーム WG で議論を深め、実際にデータプラットフォームを使っていく、実践の場を作りたいと思っております。

この後、スマート・インフラのご説明申し上げますが、そこでもまさしく今ご説明した環境センサー、AI カメラとか、どれをピックアップしてどこに配置するのかという議論をしています。ただ、それらを何に使うのか、と言う点について、一定の議論はしていますが、本当に市民のためになるのかや、誰が使ってくれるのか、あるいはマネタイズをどうしていくのかという議論が不十分ですので、四日市市の様々な部署ともやり取りしていかないといけないですし、その議論の一つの場としてデータプラットフォーム WG を活用していきたいと思えます。

<村山座長>

ありがとうございました。

その他いかがでしょうか？

#### 【第5号 スマート・インフラに係る検討の状況についての結果報告】

<村山座長>

では、次に移ります。中央通り再編の先行整備区間におけるスマート・インフラの導入が控えており、具体的に発注に向けて検討が進められています。この検討状況について、日建設計総合研究所様よりご説明お願いいたします。

<株式会社日建設計総合研究所>

株式会社日建設計総合研究所から「スマート・インフラに係る検討の状況について」について説明があった。(資料6)

<村山座長>

はいご説明ありがとうございました。それでは、スマート・インフラに関わる検討についてご意見ご質問がある方は挙手の上で発言をお願いします。

<四日市市 都市整備部 市街地整備課>

データを使って何を見せていくかについては、まだ悩ましいところがある中で検討を進めていかないとはいけません。来年、実際に業務発注をするまでには、充分議論をする必要があると認識しております。

<村山座長>

はい、どうもありがとうございました。

スマート・インフラに関するプロポーザルを、スマート・インフラ事業者を対象に実施することになりますが、具体の設置場所も含めて提案してもらうのか、それともある程度設置場所はこちらで指定するのでしょうか。

<四日市市 都市整備部 市街地整備課>

場所は市で指定するように考えております。

<村山座長>

繰り返しになりますが、どういう目的でデータを使いたいかについても、こちらではつきりさせないと、それに応じた質の高い提案は出てこないと思います。目的がはっきりしないと技術先行になってしまうので、市、または協議会として、何を目的にデータを取るか、例えば環境センサーでしたら、真夏の暑い時に安全にゆっくりできる場所を特定するとか、逆に危険なところを特定して、そこにあんまり行かないようにする等、いろいろなやり方があると思いますし、それに応じて設置場所も変わってくると思います。あとは空間整備の仕方についても、今ある空間の利活用やマネジメントと、中長期的な生活デザインへの示唆という両面があると思います。ですから、もう少し議論してから公募をかけていく必要があると思います。

<四日市市 都市整備部 市街地整備課>

ありがとうございます。工事は既に発注をかけておりますので、ほとんどの工事を来年度には行うことになるのですが、例えば、舗装を改めて行わない等の配慮はしております。

<村山座長>

ありがとうございました。他はいかがでしょうか？

#### 【第6号 その他報告事項について】

それでは次に参りたいと思います。ここまでの議題で今年度の主な進捗状況をご説明いただきましたが、今年度整備構築されたローカル 5G、データプラットフォーム、それから3D都市モデルの整備の実行状況について、説明をお願い致します。詳細は資料7をご覧くださいと思います。



まずローカル 5G の整備状況について整備主体であるシー・ティー・ワイ様からお願いいたします。

<株式会社シー・ティー・ワイ>

株式会社シー・ティー・ワイから「スマート・インフラ(ローカル 5G/光管路)整備進捗状況」について説明があった。(資料 7-1)

<村山座長>

ご説明ありがとうございます。公道におけるローカル 5G ということで、かなり話題になると思います。ご意見ご質問がある方、お願いいたします。

<館副市長>

エリアは明確に決められているのでしょうか？

<株式会社シー・ティー・ワイ>

ご回答させていただきます。電波がここで飛ぶということは、総務省側に報告をさせて頂いてございますが、電波が距離減衰しますので、アンテナから遠くなると満足にご利用頂けない可能性がございます。

<村山座長>

公共空間で電波が届くようになりますが、市民の方はどういう風にこれを使うことができるのでしょうか。何か登録する必要があるか、無料なのか等、少し具体的方針を教えてくださいなだければと思います。

<株式会社シー・ティー・ワイ>

もし 5G のまま利用しようという場合は、ローカル 5G が使える sim を端末に差してご利用いただくような形になるかと思います。中央通りでローカル 5G を使うためだけに、sim を契約してスマホで使いたいという方は少ないと思いますので、例えば 5G を Wi-Fi に変換してご利用いただく形が中心になってくるかと思います。

<村山座長>

その Wi-Fi 自体は無料で利用できるようにし、その裏のインフラを整えていただくということですね。では当面、ローカル 5G をそのまま使うのは、どなたになるのでしょうか。

<株式会社シー・ティー・ワイ>

AI カメラ等の IoT 機器が想定されます。今回初の道路での実装になるため、もう少し計

画、企画をしなければなりません、様々な実証実験が繰り返されるような形になればいいと思っております。

<村山座長>

よくわかりました。ありがとうございます。

では続きまして 3D 都市モデルについて、整備主体である都市計画課からご説明お願いいたします。

<四日市市 都市整備部 都市計画課>

四日市市 都市整備部 都市計画課から「令和 4 年度都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 3D 都市モデルの構築状況について」について説明があった。(資料 7-2)

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。それでは 3D 都市モデルの構築状況について、ご意見ご質問があればよろしく願いたします。

私は都市計画分野の人間なので、これができると色々なことができるようになると思、楽しみにしております。この場では中央通りの話を主にしていますが、市全域の LOD1 ができたということでもあり、立地適正化計画の改訂の際等に、元になる資料になるかと思ます。

一つ質問ですが、国交省が進めている Plateau があり、一方ではメタバースのプロジェクトがあり、さらにデータプラットフォームという基盤がありますが、これらがつながると、いろんなことができるのかなと思ますが、今のところはバラバラなシステムとして稼働しているという理解でよろしいでしょうか？

<四日市市 都市整備部 都市計画課>

おっしゃるように、それらすべてがデータプラットフォーム上のデータと紐づいているといった連携が望ましい姿かと思ます。

<村山座長>

ありがとうございます。Plateau は、データがオープン化されますから、それを活用できるようになると思ます。いろんな環境センサーや人流センサーが設置されて、そこからデータが得られますので、それを 3D 都市モデル上に表現すると、具体的な場所でどうなっているか、等が分かってよいと思ます。その点は、うまくデータプラットフォームが使えるとよいと思ました。

それでは本日の議題は以上となります。

### 【3. 閉会】

<村山座長>

それでは議事進行を事務局にお返しします。

<進行>

村山先生、ありがとうございました。それでは全体を通して、松本先生からコメントを頂けますでしょうか？

<松本先生>

まず資料 4 で先ほど説明いただいた、実行計画の進捗については大変分かりやすくよかったです。市民向けで十分情報発信できるような内容だと思っております。先程、資料の公表についてはまだ検討中だとのことでしたが、この協議会には、今後多くの方々にご参加いただきながら、いろんなアイデア頂いて、そして特にデータの使い道なんか考えていけないといけないと思っておりますので、ぜひこうした分かりやすい資料を対外的な情報発信に積極的に活用いただくとよいと思います。そして、興味持ったらどうぞ来てください、途中からでも参加可能だという姿勢を持ってもらおうといいと思っております。

また、データに関しては、AI センサー等々、精度をしっかりと検証していただいて、その上で今後の使い道を考えていくということで、大変地道だけど、重要なステップを踏んでくれたと思っております。次年度から、いよいよプロポを実施することですが、それにしてもまだ精度検証が不可欠だということで、歯痒いところではありますが、その精度検証もプロポで応募してもらった、実際に受託される方々にしっかりとやってもらいながら、あまりこちら側で手を煩わせることないようにして、PDCA が円滑に回っていくようになるとうよいと思っております。

少し気になっているのが、今回、中央通り再編、あるいはスマート化を進めていくにあたり、「回遊」という視点が抜けていると思えました。やはり、中心市街地全体がにぎわっていく、しみ出していくという視点が重要ですので、創意工夫を求めるポイントの中に、周辺の商店街も含め、あるいは公園等も含め、賑わいを創出していく仕組みも入るとよいと思っております。いずれにしても、中央通りだけではなく、中心市街地全体に波及があって、ひいては四日市市全体が良くなるのだということを見せていくことが大事だと思っておりますので、「回遊」の視点も持ちながら進めてもらおうとよいと思っております。計画は予定通り進んでいると思っておりますので、楽しみにしたいと思います。以上です。

<進行>

ありがとうございました。最後に全体を通して村山先生からコメントを頂けますでしょうか？

<村山座長>

今年度、実行計画に基づいて、2つのワーキンググループを精力的に進めていただき、良い成果が出てきたと思いました。

初年度ですので、実証実験、あるいは技術的な検討が多かったと思います。これは仕方のないことで、技術的な可能性や制約がある程度分かった時に改めて、これは何のためにやっているのかを再考し、次に進むことが重要かと、今日改めて思いました。

引き続き、この実行計画のフォローアップ資料が毎年出ると、よい進捗管理になりますので、さらに多くの関係者の皆さんがこれに関われるよう、取組はオープンにしてほしいと思います。

データや技術があり、色々なことが出来そうだとするところまでが分かったと思います。その次のステップとして、具体的にこの街で、限られた予算の中でどのように展開していくかというブレインストーミングを、是非来年度の早いうちにできるとよいかと思いました。ぜひご検討ください。

<進行>

ありがとうございました。以上をもちまして。令和4年度、第3回幹事会を閉会させていただきます。次年度の幹事会については、また改めて事務局よりご案内をさせていただきます。

なお、連絡先が変更される場合にはご一報いただきたく、何卒よろしくお願い致します。

本日は忌憚のないご意見をいただき、また進行にご協力いただきありがとうございました。